

“オンライン会議”の全量録音/録画ができる

VERINT Microsoft Teams コンプライアンス録音

期待される
コンプライアンス対策

お客様との
トラブル防止

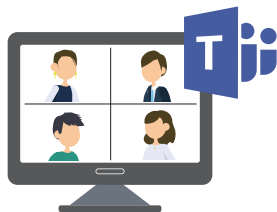
監査などの
証拠資料に

不適切発言や
不正取引の抑止

VERINT Microsoft Teams コンプライアンス録音は、監査や記録保持など、コンプライアンス対策を目的に、各企業のポリシーに沿って、Teams によるオンライン会議の自動録音 / 録画を可能にするソリューションです。

世界で300社 75,000以上のユーザーが利用 (※1)

VERINT Microsoft Teams コンプライアンス録音 3 つの特長



Teams を介したすべての
コミュニケーションの
録音 / 録画を自動で実行可能

会話 / チャット / ビデオ / 会議など全てのコミュニケーションを自動で録音 / 録画できます。また、録音失敗時には通信自体をブロックするので、録音漏れは生じません。



録音 / 録画されたデータは、
改ざんできない状態で
検索が容易なアーカイブに保存

全てのデータは暗号化した状態ストレージに保存するとともに、検索のためのテキスト情報をデータベースに保存します。必要な時に必要な情報を素早く検索できます。



保存されたデータは、記録の
保存、監視、データ分析に
活用可能

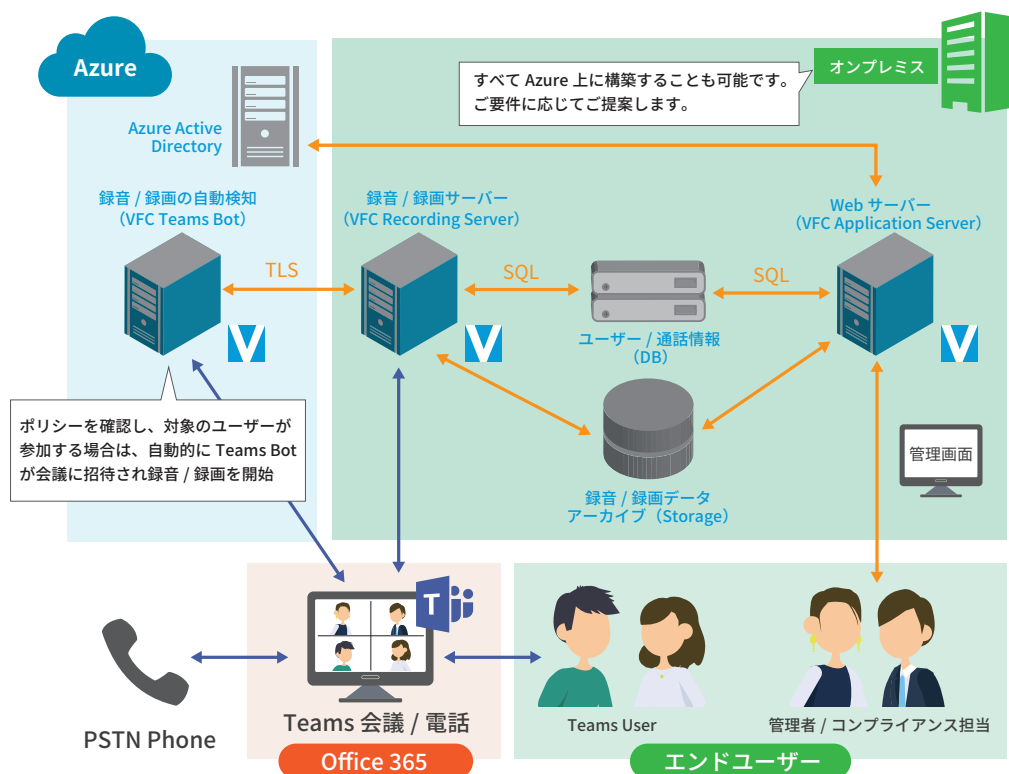
ダッシュボードは、コンプライアンスに準拠していない会話から何が問題なのかを可視化します。事前に定義されたケースへの自動追加や訴訟ホールド、ラベリングなどの機能が搭載されています。

※1) Skype for Business のユーザー含む

Microsoft Teams におけるレコーディングの考え方

Office 365 標準機能の Teams 録音 (Microsoft Stream 利用)	 + 	備忘録や会議内容の共有を目的に 録音 / 録画は会議に参加するユーザーが実行	コンプライアンス目的ではない
VERINT 製品による Teams 録音	 + VERINT.	監査や記録保持目的で各企業の ポリシーに沿って録音 / 録画を自動で実行	コンプライアンス対策向き

オンプレミスの場合の構成および費用イメージ



費用イメージ

100 名様規模でご利用の場合

初期費用 1,000 万円～

月額費用 80 万円～

■ 上記費用には、VERINT ライセンス、ハードウェアおよび構築費用が含まれます。

■ Microsoft ライセンスは上記に含まれていません。お客さまにてご用意ください。

音声、ビデオおよび画面 / アプリケーションウィンドウの共有録音（コンプライアンス録音）には以下のライセンスが必要となります。

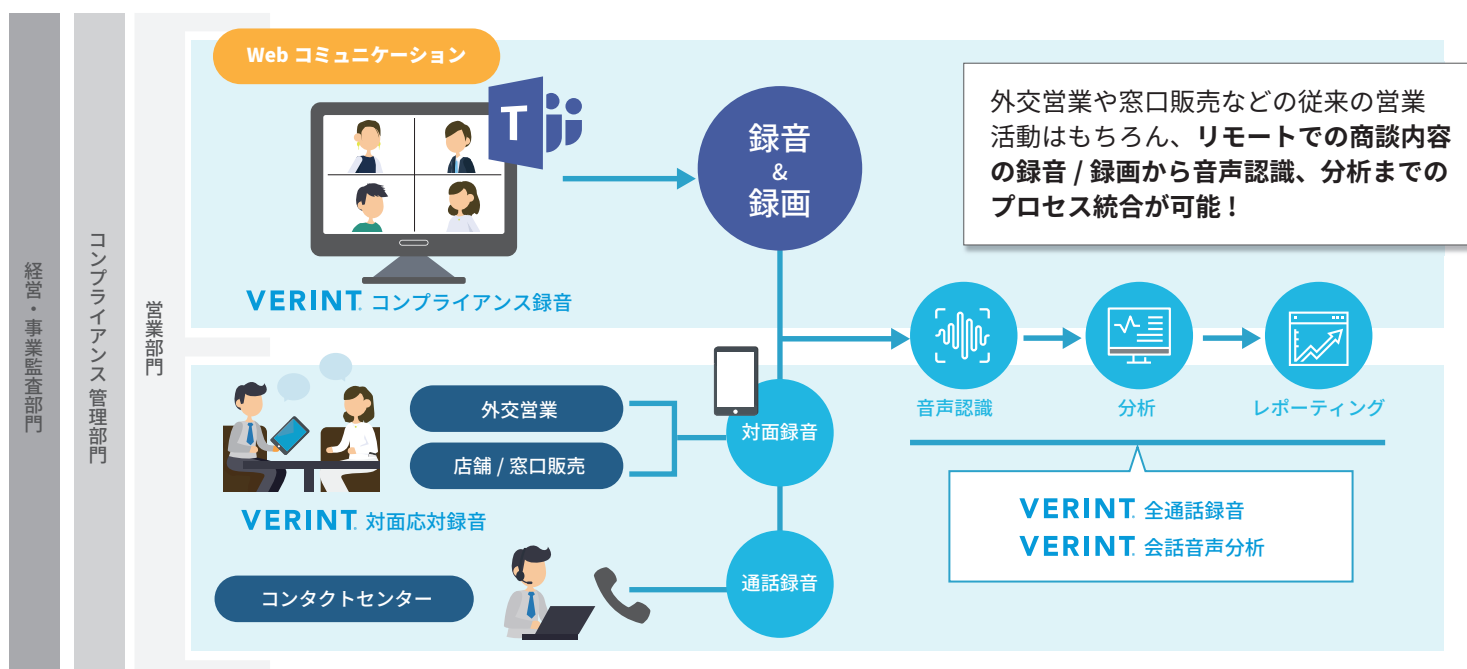
- Microsoft 365 A3/A5/E3/E5 and
- Office 365 A3/A5/E3/E5 users
- with no additional consumption charge.

インスタントメッセージ、添付ファイルのキャプチャおよびアーカイブする場合は、上記に加えて、以下のライセンスも必要となります。

- Office 365 A5/E5
- Microsoft 365 A5/E5
- Microsoft 365 Information Protection and Governance
- Office 365 Advanced Compliance

■ ストレージ容量は、録音 / 録画対象と保存期間により増減します。

すべてのコミュニケーションの録音～分析レポートまでのプロセスを統合できる VERINT ソリューション



VERINT. FY2020 No.1 Revenue Partner

金融機関のコールセンターへの VERINT 製品の導入実績を多数持つ S&I にお任せください！

sandi

エス・アンド・アイ株式会社
https://sandi.jp/

東京都港区西新橋 1-7-14 京阪神 虎ノ門ビル 〒105-0003
Tel. 03-6822-8409 Fax. 03-6852-7660 info@sandi.co.jp

記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
記載された内容は 2021 年 5 月時点での情報に基づきます。内容は予告なく変更することがあります。